「腎と透析」投稿規定（別冊を除く）

［2022年7月改訂］

■本誌は腎臓病・透析・腎移植などに関する論文で，他誌に発表されていない原稿を掲載します。なお，当該論文の概要を学会，研究会などで発表された場合（または発表予定の場合），その旨を論文末尾に記載してください。

■論文の採否は編集委員会の査読により決定します。査読結果により論文の修正，加筆，削除などをお願いすることがあります。

■著者校正は原則として一度行います。

■本誌に掲載する著作物の複製権，上映権，公衆送信権，翻訳・翻案権，二次的著作物利用権，譲渡権などは株式会社東京医学社が保有します。

■倫理指針について

1. 臨床研究の場合，2003年厚生労働省による「臨床研究に関する倫理指針」（以後の改定を含む）に基づき，倫理委員会承認番号がある場合は記載してください。
2. 動物実験を含む場合，2006年日本学術会議による「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」に基づき，動物実験委員会（またはそれに相当する委員会）の承認番号がある場合は記載してください。
3. 患者プライバシー保護の観点から，個人が特定できない配慮をお願いします。できない場合には，患者の同意を得て承諾書（コピー）を提出してください。20歳未満の小児や患者本人が死亡している場合は，保護者または近親者等の承諾書（コピー）を提出してください。提出できない場合は理由書を提出してください。
4. 臨床研究（介入）に関する論文は，公的な臨床試験登録機関への登録番号を記載してください。
5. 筆頭筆者について開示すべき利益相反を論文の本文末尾に記載してください。
   これに加え，「自己申告によるCOI報告書」を弊社ホームページからダウンロードし，記入のうえ，合わせて送付してください。

■原稿文字数について

「研究」　8,400字以内（図・写真・表を含む）
「症例」　6,000字以内（図・写真・表を含む）
「その他」 6,000字以内（図・写真・表を含む）

・上記の文字数は文献を含んだ文字数です。
・図・写真・表の各1点は，原則として400字に換算してください。

■掲載料について

「研究」：刷上り3ページまで無料
「症例」「その他」：刷上り2ページまで無料
上記を超過した分は実費を申し受けます。

医療機器・薬剤論文については，特別有料掲載制度を利用してください。原稿枚数などは一般投稿に準じます。

■執筆について

1. 原稿は原則としてA4判で作成し，ページ番号を付してください。
2. 新かなづかいで句読点を正確に付けてください。
3. 外国語・外国人名・地名は原語表記のままにしてください。ただし，一般に日本語化しているものはカタカナ表記にしてください。薬剤名は原則として和文表記にしてください。
4. 単位表記は原則としてSI単位系を用いますが，日常臨床で使用している単位を用いて差し支えありません。
5. 頻回に使用される用語については略語を用いても構いませんが，初出の際は正式の語を記載し“（以下，…）”と略語を併記してください。
6. タイトルページには，以下を含めてください。
   ①タイトル（日本語・英語を併記）
   ②論文の種別（研究・症例・その他）
   ③全著者の氏名（日本語・英語を併記）
   ④全著者の所属（日本語のみ）
   ⑤筆頭著者・校正者の連絡先
   ⑥key words（和洋語にかかわらず5語以内）

■図・写真・表について

1. 図・写真・表は，可能な限り日本語で表現してください（表題を含む）。
2. 図・写真・表は，本文とは別に1ページずつ作成してください（A4判）。また，それぞれ本文中の掲載順に番号を付け，本文中に挿入位置を明示してください。写真は図の扱いとして番号を付けてください。
3. 写真については，デジタルデータの場合は鮮明な画像となる解像度に設定のうえ，JPEG，TIFF，EPSなどのファイル形式で保存し，Microsoft PowerPointやWordなどに貼り付けてください。紙焼き写真の場合，手札サイズ以上に印刷された鮮明なものを郵送してください。
4. カラー印刷希望の場合は，実費を申し受けます。

■引用・転載について

他の文献より文章・図・表などを引用・転載される場合は，出典を明記し，予め著作権者や原著者の許諾を得てください。

■文献について

1. 文献は主要なもの20点以内に限ります。
2. 著者名は3名まで記載し，それ以上は“…，他”“…，et al”としてください。
3. 雑誌名を略記する場合，本邦のものは医中誌の略記，外国のものはPubMedまたはIndex Medicus所載の略記に準じてください。

Presented by Medical*Online

〔例：雑誌の場合〕

1）佐中　孜：カルニチン．腎と透析 80：731-734，2016

2）Jassal SV, Karaboyas A, Comment LA, et al：Functional dependence and mortality in the international Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study（DOPPS）. Am J Kidney Dis 67：283-292, 2016

〔例：書籍の場合〕

3）高橋公太：腎移植患者と感染．上田　泰・斎藤　篤（編）：化学療法と腎臓，pp127-147，東京医学社，東京，1992

4）Kieff E, Rickinson AB：Epstein-Barr virus and its replication. Knipe DM, Howley PM（eds）：Fields Virology, 4th ed, pp2511-2573, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2001

■別刷について

1. 筆頭著者（または投稿者）に別刷 30 部および掲載誌 1 部を無料進呈いたします。
2. それ以上の別刷をご入用の場合は，50 部単位で実費により作製いたします。

■原稿送付先

（株）東京医学社「腎と透析」編集部
E-mail　jin@tokyo-igakusha.co.jp
※郵送をご希望の場合はメールにてご相談ください。

「腎と透析」バックナンバー

96 巻 1 号（2024 年 1 月）	CKD 患者の栄養管理 update	（3,190 円）
2 号（2024 年 2 月）	糖尿病性腎症研究の最前線	（3,190 円）
3 号（2024 年 3 月）	サイコネフロロジー：透析・移植	（3,190 円）
4 号（2024 年 4 月）	在宅透析	（3,190 円）
5 号（2024 年 5 月）	腎不全合併症に関する最近の進歩	（4,400 円）
6 号（2024 年 6 月）	感染症と腎疾患	（3,190 円）
97 巻 1 号（2024 年 7 月）	補体と腎疾患：温故知新	（3,190 円）
2 号（2024 年 8 月）	腎移植：知っておくべき最新の話題	（3,190 円）
3 号（2024 年 9 月）	病理からせまる腎疾患の病因・病態解明	（4,400 円）
4 号（2024 年 10 月）	AI ことはじめ	（3,190 円）
5 号（2024 年 11 月）	腎と微量元素―鉄・銅・亜鉛を中心に	（3,190 円）
6 号（2024 年 12 月）	CKD 患者に望まれる造血・鉄代謝異常の管理	（3,190 円）
98 巻 1 号（2025 年 1 月）	透析療法の課題，展望	（3,190 円）
2 号（2025 年 2 月）	腎臓リハビリテーション up to date	（3,190 円）
3 号（2025 年 3 月）	「糸球体上皮細胞学」の最新知見	（3,190 円）
4 号（2025 年 4 月）	高血圧診療 update	（3,190 円）
5 号（2025 年 5 月）	CKD-MBD―進歩と革新	（4,400 円）
6 号（2025 年 6 月）	腎臓とエイジング/アンチエイジング	（3,190 円）
99 巻 1 号（2025 年 7 月）	ヘマトネフロロジー	（3,190 円）
2 号（2025 年 8 月）	IgA 腎症のすべて―最新の診断法と治療	（3,190 円）
3 号（2025 年 9 月）	腎性貧血の最新動向 ―2025 年版 CKD 患者における腎性貧血治療ガイドラインの要点と実践	（4,400 円）
4 号（2025 年 10 月）	腎代替療法 Update	（3,190 円）
5 号（2025 年 11 月）	内因性調節因子と治療薬による体液量コントロール	（3,190 円）
6 号（2025 年 12 月）	腎移植：最新の動向	（3,190 円）
100 巻 1 号（2026 年 1 月）	AKI の基礎と臨床	（3,190 円）
2 号（2026 年 2 月）	CKM を考える	（3,190 円）
3 号（2026 年 3 月）	多発性嚢胞腎―基礎から臨床へ	（3,190 円）
4 号（2026 年 4 月）	腎尿路疾患に関連する感染症	（3,190 円）
5 号（2026 年 5 月）	バスキュラーアクセス	（5,500 円）

バックナンバーのご注文ならびに在庫照会は下記までご連絡ください。
東京医学社　営業部　TEL03-5810-1628　FAX03-5810-1629
E-mail：hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

Presented by Medical*Online